

52

褥瘡ハイリスク患者ケア実施件数（割合）

自院

指標の意義

褥瘡ハイリスク患者ケアは、褥瘡予防・管理が難しく重点的な褥瘡ケアが必要となる患者に対し、適切な褥瘡予防治療計画に基づく総合的な褥瘡対策を継続することで、褥瘡の発生予防及び褥瘡の悪化防止につながります。

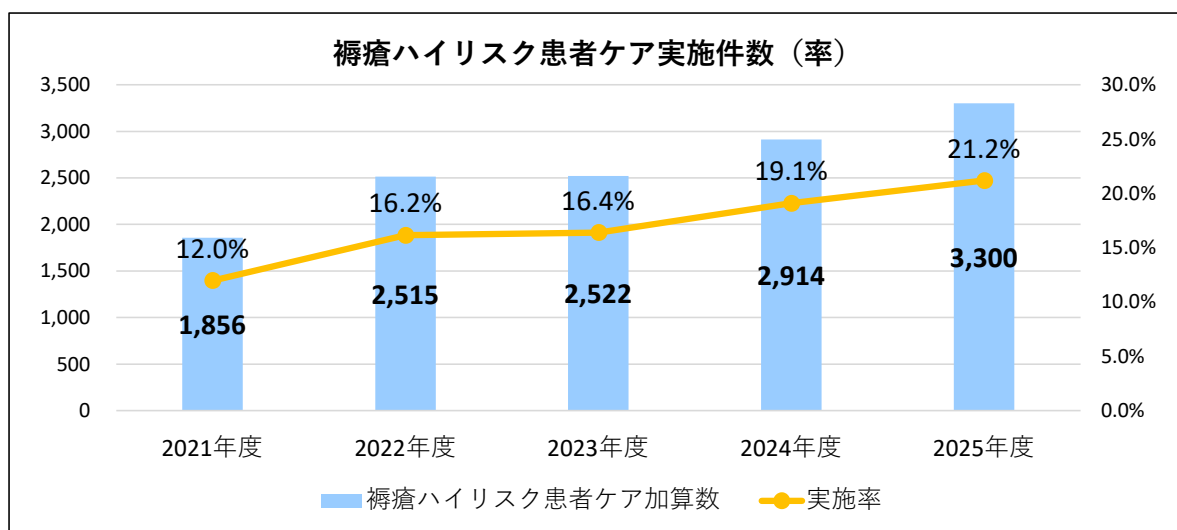
定義

分子 褥瘡ハイリスク患者ケア加算件数×100

分母 退院患者数

当院の実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	
褥瘡ハイリスク患者ケア加算数	1,856	2,515	2,522	2,914	3,300	(件)
退院患者数	15,498	15,561	15,409	15,222	15,603	
実施率	12.0%	16.2%	16.4%	19.1%	21.2%	(%)



指標実績の分析・評価

- ・がん専門病院の特徴でありハイリスク要因8項目内で麻薬項目での算定数が最も多い（1719件）。次に特殊体位、6時間以上の手術となっており手術件数増加により外科的な項目での算定数が伸びています。
- ・昨年度の褥瘡ハイリスク加算算定項目を見直し、【医療関連機器】（弾性ストッキング・フットポンプ）の算定数が少ないことから褥瘡リンクナースへ周知を行ったことで算定につながったと思われます。

53

圧迫創傷（褥瘡）率

日病QI

- a. 新規圧迫創傷（褥瘡）発生率
 b. 新規医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）発生率
 c. 持ち込み圧迫創傷（褥瘡）率

指標の意義

圧迫創傷の持ち込みや調査期間以前の圧迫創傷の発生に関わらず、入院患者全体のうちのどれくらい圧迫創傷が新規に発生しているかを見るもので、圧迫創傷ケアの質を評価するものです。

持ち込み圧迫創傷率は改善することが一般に困難な指標であり、圧迫創傷を持ち込む新規入院患者が入院患者のうち、どの程度かを見るものです。

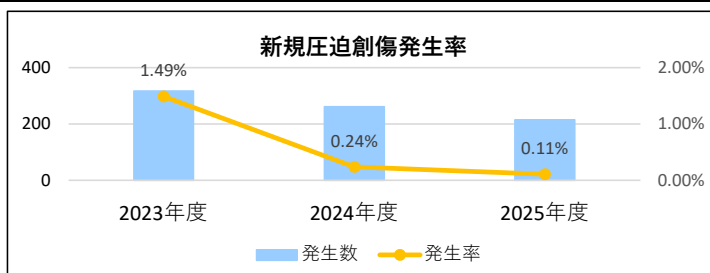
定義

- a. 分子 調査期間中にd2（真皮までの損傷）以上の院内新規圧迫創傷発生患者数
 分母 調査期間初日（0時時点）の入院患者数+調査機関に新たに入院した患者数
- b. 分子 調査月の新規医療関連機器圧迫創傷（Medical Device Related Pressure Injury:MDRPI）発生患者数
 分母 調査期間初日（0時時点）の入院患者数+調査期間に新たに入院した患者数
- c. 分子 入院後24時間以内に圧迫創傷発生の記録がある患者数
 分母 調査期間に新たに入院した患者数

当院の実績

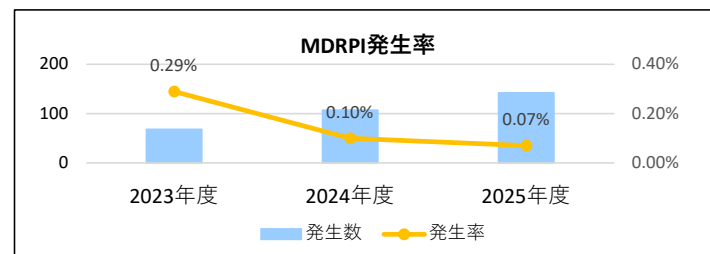
a. 新規圧迫創傷（褥瘡）発生率

	2023年度	2024年度	2025年度
発生数	317	262	215
発生率	1.49%	0.24%	0.11%



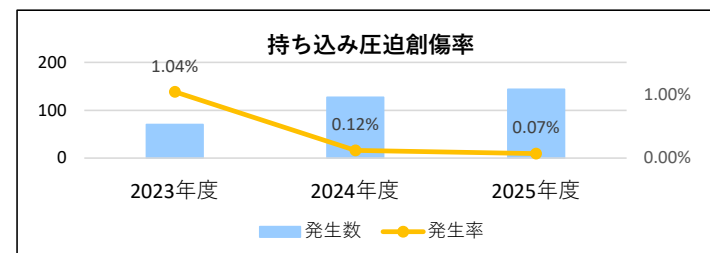
b. 新規医療関連機器圧迫創傷（MDRPI）発生率

	2023年度	2024年度	2025年度
発生数	68	107	142
発生率	0.29%	0.10%	0.07%



c. 持ち込み圧迫創傷（褥瘡）率

	2023年度	2024年度	2025年度
発生数	70	127	144
発生率	1.04%	0.12%	0.07%



指標実績の分析・評価

・がん終末期の患者も多く、褥瘡発生リスクは高いといえる。その分、エアマットレス、ウレタンマットレスなど体圧分散寝具を効果的に使用することで褥瘡予防に努めています。